

すなお

令和2年2月号

おやのことば

ものというものは旬がある。
道理諭せば皆旬がある。

旬が外れると、種を下ろしても
生えるものもあれば、生えんも
もある。

旬が外れば覚束ないもの。
おぼつか

どんなものでも旬が外れると、
一花だけで落ちて了たら、どう
もならん。
しも

これから一つの理を聞き分け。

明治二八年五月十二日



すなお (立教183年2月号)

通 巻 No.715
発行所 天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
☎ 0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
発行日 2020.2.16
責任者 二宮英治

会 長

今月初旬、教会の表に植えてあったサクラランボの木を移植しました。駐車場のレイアウトを変更したいと思つてのことですが、私はあまり植木の事をよく知らないので大教会で詳しい先生に電話で尋ねながらさせて頂きました。

今年は皆さんも感じておられるようにとても暖かい日が続いていて、本来二月頃は寒いので木が休んでいる時期のようです。ですから、植え替えるならこの時期にするのが良いとのことでした。それで（今月中にでも移せばいいか）と思つていたのですが、木を見るとつぼみが膨らみかけていて、。それで師匠に確認をしたら、「出来るだけ早く！」ということになり大急ぎで移植しました。

作物はだいたい例年の時期というのがあると思いますが、その時々状況に合わせて段取りを変えて行かなくてはならないこともあります。何に合わせるかというとは天然自然。つまりは神様に合わせるとのことです。これこそが旬です。そうすれば良い芽が出て良い花が咲き、良い実がのります。神様の御用、用事にも旬がありますので、遅れないように勇んでつとめて下さい。



台湾へ新婚旅行！

田中道則

1月の17日から3日間、台湾ツアーに行ってきました。妻が格安ツアーの抽選に応募したところ見事に当たり、1年越しの新婚旅行も兼ねて行くことにしました。自分は台湾伝道庁で1年間青年つとめをしていたので約15年ぶりでした。台北の街を満喫して2日目、バスで故宮博物館に行く途中、懐かしい景色が見えてきて、驚くことに伝道庁の前を通りました。台北の中心街から少し外れた所にあるので見ることは出来ないと思っていたので感動しました。ここで習いたての北京語を使ってにをいがけに歩いた事を思い出しました。妻のおかげで懐かしい台北の街へ行く事が出来ました。またいつか行ける日を楽しみに日々勇んでつとめたいです。

教会ニュース

大教会役員巡教

来月の月次祭に大教会役員の吉村嘉道先生が巡教して下さいます。いつもより少し早めに教会へお帰り頂き、心より迎えさせて頂きたいと思います。よろしくお願いします。

瀬戸路分教会エコプロジェクト ～太陽光発電状況～

1月17日検針で1144kWh発電し、45,302円の売電金額となりました。累計111,763kWh、4,375,763円の総売電金額となりました。

婦人会創立110周年 日々の理御供 報告

1月には67,720円を上級葛城へ運ばせて頂きました。2020年4月までつとめさせて頂きますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

造園関連ひのきしん

教会の植木の剪定や除草などのひのきしんをお願いします。ひのきしんに来られるタイミングがありましたら、事前に電話やライン等で会長まで連絡下さい。共に教会への伏せ込みひのきしんをさせて頂きましょう。

親会長さんとの最後の約束

鈴代



この度「鈴代 ここまでおいで」と題して本を自費出版しました。

私の歩んできた今日までの信仰の足跡を、本にするという親会長さんとの約束を果たすべく、私の挑戦でした。

去年は、時間をみては本の執筆に取り組みました。75才頃から書いていた文章に、後半を書き加えるという作業ですが、さすがに、年齢の壁は厚く、ずいぶんと時間を費やしてしまいました。

19才の春、親会長さんに出会い信仰に目覚め、厳しい布教生活の

日々、必死に歩んだ60年の私の求道の日々をありのまま書きました。たどたどしい文章も表現も、書き尽くせない内容も、読者の皆さんの心の目に委ねて、思い切って出版させていただくことにしました。

私の文章を大洋輝の会長さんが制作製本に尽力してくれました。

「2月9日の命日に間に合わせてほしい」との私の無理な願いに答えて完成させていただきました。

どうか、素直な気持ちでお読みいただき、日々の暮らしの中にささやかな灯となっていただけたらと思います。

そして、瀬戸路につながる皆様方の教会のこんな元一日のあったことを今は、当時を知る人はほとんどおられません、心に留め置いてくださるならばありがたいです。

一人も多くの人に読んでいただければ嬉しいです。協力お願いします。

1冊600円です。